



学びの虹

授業参観 ありがとうございました

1月末に実施しました3学期授業参観には二日間で延べ400名以上の方に来校いただきました。ありがとうございました。また、参観後のアンケートも多数の方に御協力いただきました。アンケートには、教職員への労いや感謝の言葉、改善に向けた指摘やアイデア、そして何よりもお子様の学習の様子を直接見ることで成長を実感できた喜び、そのような記載がたくさんありましたことを、嬉しく感じております。いただいた御意見の一部を紹介いたしますと

- ・子供に見つかる事なく、参観できた。
- ・完成した作品でなく、作っている姿を見ることができた。
- ・子供を見て先生と相談、共有できる良い機会
- ・個々に合わせて先生方が工夫されていた
- ・家では見られない成長を見ることができた

また、改善に向けた御意見、アイデアとしては

- ・言葉だけでなく視覚支援の活用も
- ・時間の仕切りがなく、ダラダラした感じ
- ・トイレが汚れていた
- ・希望の教科を見られると良い
- ・もっと早めに知らせて、早めの日程周知を

アンケートでいただいた御意見をしっかりと受け止め、指摘事項の改善を進めることで、保護者の望む情報が伝わり、学校と家庭が子供の成長を共有し、次への学びのきっかけとなる、授業参観がそのような機会となりますよう、努めて参ります。ありがとうございました。

校内『書道展』

3学期が始まると、廊下にたくさんの書道作品が飾られます。毎年恒例の「書道展」です。『文字に親しみ「書く」ことへの興味・関心を高める。』そして『作品を見合うことで認め合

う気持ちを育てる』ことをねらいとして、開校時から全校で行っている取り組みです。半切り以内であればサイズは自由で、子供一人一人の実態に応じて学習グループや学級、学年で取り組みます。そこから学年や学習グループごとに代表作品が選出され、「向学賞」「虹輝賞」「PTA会長賞」「校長賞」の受賞作品が選定されます。受賞した児童・生徒には修了式の日には体育館ステージで表彰式が行われます。今年も、たくさんの素敵な作品が展示されました。



廊下に飾られた作品を見ていて気付いたことがあります。それは、本物の迫力といえますか、線の太さや勢いから伝わる作者である子供の姿とでもいうのでしょうか、同じ作品だとしても学年便りの写真では伝わってこない、作品そのものがもつ魅力のようなものを感じられたことです。当たり前のことかもしれませんが、書道作品はそうしたことがより明確に伝わってくるように感じました。学校にお越しの際は、ご自身のお子様の作品はもちろん、校内に飾られているたくさんの子供たちの作品もご覧いただければと思います。そして、新たな発見や気付きを感じていただければ幸いです。

令和5年度 全国公開研究会について

2月2日（金）に第10回全国公開研究会を開催しました。今年度もオンラインとオンデマンドを併用して、外部参加者が来校しない形で実施しました。全国からオンラインで82名の方に申し込みをいただき、本校の研究成果や課題を発表、共有することができました。

令和3年度より「鹿本学園の学びの構築」～いつ、何を、どの様に学び、評価するのか～という校内研究テーマを掲げ、3ヵ年計画で授業改善に取り組んできました。昨年度は「どのように学ぶか」とし、授業実践を通して“主体的・対話的で深い学びの実現”に向けて校内研究を重ねてきました。3年目にあたる今年度は「どのように評価するか」をテーマに発表や協議、パネルディスカッションを通して、校内のみならず外部参加者とも情報共有を図る有意義な時間となりました。

次年度以降も“鹿本学園らしさ”“鹿本学園だからこそ”という「鹿本学園の学びの構築」を目指し、自立し社会参加できる児童・生徒を育成するよう授業改善に努めてまいります。



研究育成部 全国公開研究会担当 篠原徹